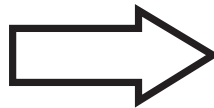


塩素用ボール・バルブ

塩素用ボール・バルブは、バルブ・ボディに示されている矢印が、**流れの方向またはシステムの減圧方向**を指し示すように取り付けてください。

正しい方向に取り付けることで、バルブが閉状態の時、ボールおよ



びボディのくぼみ内部にある過剰な圧力を、加圧方向の一次側に排出することができます（Chlorine Institute Pamphlet No. 6にて推奨）。

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じてしまった場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok

www.swagelok.co.jp

その他の言語のカードもご用意しています。詳細につきましては、スウェージロック指定販売会社までお問い合わせください。

クリーニング手順（概要） 塩素用バルブの場合

クリーニング：接液・接ガス部にバリ、破片、汚れが残っていないか確認します。炭素鋼製ボディ／フランジの場合は、ミネラル・スピリットによる脱脂作業、洗剤による洗浄、すすぎを行います。炭素鋼以外の金属製部品、および非金属製部品の場合は、Swagelok SC-11仕様に基づいた特別なクリーニングを行います。

組み立て：クリーニング後すぐに部品の組み立てを行います。すべてのねじおよびOリングには、クライトックス®（潤滑剤）を塗布します（特に指定のない限り）。

テスト：特別なクリーニングを行ったバルブのシール部に対する圧力テストは、高純度のドライ窒素を用いて行います。外部リーク・テストは、正圧ヘリウムを用いて行います。

パッケージング：テスト終了後、バルブを2枚のクリーンなポリエチレン製バッグに密封します。

注意：圧縮ガスは非常に危険です。塩素などの反応性ガスを扱う際は、特別なクリーニング手順に従ってください。記載の手順がアプリケーションのニーズに適しているか必ずご確認ください。Swagelok SC-11仕様をよくお読みください。アプリケーションによっては、より厳密なクリーニング手順が必要となる場合もあります。

クライトックス—TM DuPont MS-INS-C60-TAGJ-E
Swagelok — TM Swagelok Company CP Revision D
November, 1997
B12P

©1984, 1987, 1992, 1993, 1997 Swagelok Company